

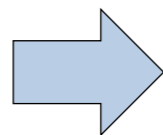
「心豊かなおかやまっ子」の育成に向けて



岡山県マスコット
「ももっち」と「うらっち」

①岡山県の子どもたちの課題

- 規範意識の低下
- 人間関係の希薄化
- コミュニケーション能力の低下
- ねばり強さの低下



②岡山県のめざす子ども像

- ◆ よりよく生きようとする子ども
- ◆ 規範意識の高い、他人を思いやることができる子ども
- ◆ 豊かな人間関係を構築できる子ども

③めざす子ども像を実現するための取組の具体例

◇子どもたちの思いや願いをしっかり受け止めよう

【学校・園では】

- ・子どもたちのどんな発言も大切にしよう。
- ・授業中、子どもたちの間違っただ意見も生かそう。
- ・子どもの目を見て、あいさつや声かけをしよう。
- ・子どもの気持ちや悩みを受け止めよう。

【家庭では】

- ・子どもの心を感じながら、じっくり時間をかけて本気で語り合おう。
- ・大人も子どもと一緒に命の大切さを考えよう。

【地域では】

- ・地域の子どもたちに、積極的にあいさつや声かけをしよう。

あなたの立場で、どんなことができるでしょうか。

◇子どもに教えるべきことは繰り返し教え、子どもが考えるべきときはじっくり待とう

【学校・園では】

- ・家庭や地域と連携して、心に響く道徳教育を推進しよう。
- ・学校や学級のきまりを守ることの意味や大切さをきちんと伝えよう。

【家庭では】

- ・親が子どもに正しい言葉づかいを教えよう。
- ・子どもと将来のことや夢を語り合おう。
- ・家族で行動する中で、生命の大切さや社会のルール等、社会の中で大切なことを子どもの心に届けよう。

【地域では】

- ・礼儀、あいさつ、社会のルールを守ること等、大人として、子どもたちにより手本を示そう。
- ・日ごろから地域の子どもたちと人間関係をつくっておき、子どもたちの不適切な行動を見かけたときには、きちんと注意しよう。

あなたの立場で、どんなことができるでしょうか。

◇学校・園や家庭・地域で、豊かな体験の場をつくろう

【学校・園では】

- ・友達と力を合わせてやり遂げ、達成感や充実感を味わえる場をつくろう。
- ・職場体験や奉仕活動等、自分の将来展望を深められる場をつくろう。
- ・文化や芸術にふれて感動できる場をつくろう。
- ・動植物や乳幼児とのふれあい等、命を感じられる場をつくろう。

【家庭では】

- ・動植物の世話等、命を育てられる場をつくろう。
- ・家庭での手伝い等、自分が人の役に立っていると実感できる場をつくろう。
- ・地域の行事に家族で積極的に参加しよう。

【地域では】

- ・地域の人と交流できる場をつくろう。
- ・地域の一員であることを実感できる場をつくろう。
- ・自然とふれあえる場をつくろう。
- ・高齢者や異年齢の友達とふれあえる場をつくろう。



あなたの立場で、どんなことができるでしょうか。

④学校における体験活動の充実

◇発達段階に応じた様々な体験活動を設定しよう。

- 例えば ・就学前から : 自然体験、生活体験、文化体験等の実体験
地域や身近な人など、様々な人との交流体験
清掃活動、ボランティア活動等の社会奉仕的な体験
- ・小学校段階 : 縦割り活動等の学年の枠をこえた体験
 - ・中学校段階 : チャレンジ・ワーク14（職場体験活動）
 - ・高等学校段階 : 社会貢献活動、インターンシップ

◇体験活動の事前・事後の指導を大事にしよう。

- ・活動に継続性と発展性をもたせるために、P(計画)D(実践)C(評価)A(改善)サイクルを確立しよう。
- ・活動前には、活動の趣旨・目的を明確にして意欲と見通しをもたせよう。
- ・活動後には、振り返りの時間を持ち、結果の検証を行って次の活動につなげよう。
- ・活動後には、成果や気づき、気持ちの変化等を様々な方法で表現する機会をつくり、成就感や満足感をもつことができるようにしよう。



⑤学校・園と家庭・地域との連携

◇学校・園と家庭・地域が一体となって子どもを育てよう。

- ・学校の教育方針や取組、子どもたちのすばらしいところを様々な機会を捉えて地域や家庭に発信しよう。
- ・道徳の時間や教育活動を積極的に公開したり、地域に出かけて学習を行ったりして、学校や子どもたちの様子を地域の人に知ってもらおう。
- ・地域のコミュニティと学校・園との交流を進めよう。
- ・学校・園と家庭・地域の交流活動の中に、心の教育につながるふれあい活動を意識して取り入れよう。

◇家族や地域の人とのかかわりを大切にしよう。

- ・就学前から様々な人とのかかわることにより、自分の気持ちを表す「表現力」や受け手の気持ちを考える「想像力」を育てよう。
- ・様々な人と一緒に活動する機会をつくり、経験や体験を通して感謝する心や感動できる心など豊かな感性を育てよう。

「心豊かなおかやまっ子」の育成に向けて



⑥ めざす子ども像の系統表

学校園の教育活動全体を通じての道徳教育を推進する体制づくり、全体計画・年間計画の作成

岡山県の
めざす
子ども像

就学前

小学校段階

中学校段階

高等学校段階

よりよく生きようとする
子ども

●基本的生活習慣の育成

- ・様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
(望ましい生活習慣)
- ・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。
(豊かな感性)
- ・自分の身近な生活の仕方を知り、自分たちで生活場を整えながら見通しをもって行動する。
(自主)
- ・身近な動植物に親しみをもって接し、いたわったり大切にしたりする心を育てる。
(動物愛護)

●自己肯定感の高揚

- ・自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。
(強い意志)
- ・自分の特徴に気付き、よいところを伸ばす。
(個性の伸長)
- ・働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。
(勤労の尊さ)
- ・生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。
(生命尊重)

●自己実現への意欲の高揚

- ・より高い目標を目指し、勇気と希望をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。
(高い目標・強い意志)
- ・自己を見つめ自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。
(個性の伸長・生き方の追求)
- ・勤労の貴さや意義を理解し、奉仕の精神をもち、公共の福祉と社会の発展に努める。
(勤労の尊さ・奉仕の精神)
- ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。
(生命尊重)

●人生を切り拓く意欲の向上

- ・自らがすべきことを見極め、目標の達成に向けて、困難なことにも強い意志をもって粘り強く取り組む。
(高い目標・強い意志)
- ・自らの個性を生かし、自己探求と自己実現に努め、人間としての在り方生き方について考えを深める。
(個性の伸長・生き方の追求)
- ・社会貢献活動等を通して勤労の尊さや創造することの喜びを体得するとともに、奉仕の精神や公共の精神を養う。
(勤労の尊さ・奉仕の精神)
- ・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培い、生きることのすばらしさの自覚を深める。
(生命尊重)

規範意識の高い、
他人を思いやること
ができる子ども

●集団のきまりを守る意識の醸成

- ・友達と楽しく生活する中で、きまりの大切さに気付き、守ろうとする。
(望ましい生活習慣)
- ・よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。
(自律)
- ・友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ。
(思いやりの心)

●学校生活での規範意識の高揚

- ・約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。
(法やきまりの遵守)
- ・正しいと判断したことは、勇気をもって行う。
(誠実)
- ・だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にする。
(思いやりの心)

●学校や地域での規範意識の高揚

- ・法やきまりの意義を理解し遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を着実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。
(法やきまりの遵守・社会の秩序と規律)
- ・自主的に考え、誠実に実行して、その結果に責任をもつ。
(自主・誠実・責任)
- ・温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。
(温かい人間愛・思いやりの心)

●社会的な規範意識の高揚

- ・法的な規則やきまりを守り、道徳的な生き方をしようとする。
(社会の秩序と規律)
- ・決断したことは、積極的にしかも誠実に実行し、その結果について責任をとることができる。
(誠実・責任)
- ・生命あるものすべてに対する思いやりの心を育む。
(思いやりの心)

豊かな人間関係を
構築できる子ども

●基本的信頼感の形成

- ・身近な人たちと親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。
(信頼)
- ・様々な出来事の中で、感動したことを伝え合う楽しさを味わう。
(温かい人間愛)
- ・自然に親しみ、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
(美しいものへの感動)
- ・高齢者をはじめ、地域の人々などの自分に関係の深い、いろいろな人に親しみをもつ。
(温かい人間愛)

●友達や身近な人たちとの人間関係を築く力の育成

- ・友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
(信頼)
- ・だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平にする。
(公正・公平)
- ・謙虚な心をもち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。
(謙虚・寛容な心)
- ・生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。
(感謝)

●地域社会において人間関係を築く力の育成

- ・友達の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い高め合う。
(信頼・友情の尊さ)
- ・正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。
(正義・公正・公平)
- ・それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。
(自他の尊重・謙虚・寛容の心)
- ・多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それに応える。
(感謝)

●国際社会において人間関係を築く力の育成

- ・集団や社会の一員として、よりよい生活や人間関係を築く。
(社会連帯・よりよい社会の実現)
- ・人権を尊重し、差別のないよりよい社会を実現しようとする。
(差別や偏見のない社会の実現)
- ・自分と異なる他者の意見に十分耳を傾け、他者を尊重する。
(自他の尊重・謙虚・寛容の心)
- ・お互いに支え合う社会の一員であることを自覚し、感謝の心をもって責任を果たす。
(感謝)

道徳の時間の充実

○道徳の授業公開 ○他の教師との協力的な指導 ○地域の人材活用

人間としての在り方生き方に関する教育

